

【オリコンサルグローバル MRT 運行会社と覚書 ジャカルタでの公共交通開発促進で協力】

ジャカルタでの公共交通開発促進で協力

オリコンサルグローバル
MRT 運行会社と覚書

オリエンタルコンサルタンツグローバルは7日、インドネシア・ジャカルタの都市高速鉄道（MRT）を運営するPT MRTジャカルタ社と、ジャカルタでの公共交通開発促進に向けた協力で覚書を交わした。同日ジャカルタで開かれたPT MRTジャカルタ社主催の公共交通指向型開発（TOD）フォーラムで交換。署名にはジャカルタ特別州知事、在インドネシア日本大使館の田村政美次席公使らが立ち会った。

オリコンサルグローバルはTODなどの都市計画・都市開発の専門家を積極的にジャカルタに派遣し、ジャカルタ特別州の都市計画・都市開発を支援してい

る。同国でのこれらの実績から、PT MRTジャカルタ社がTODのパートナーとして選定。覚書の交換に至った。

今回の覚書に基づき、オリコンサルグローバルは9月に東京で開催予定のインドネシア国主催ジャカルタTOD国際フォーラムを支援するなど、PT MRTジャカルタ社とTOD分野での連携を深めていく。

オリコンサルグローバルは1980年代からジャカルタ首都圏の交通マスタープラン策定などの交通ネットワーク構築事業に携わってきた。直近ではPT MRTジャカルタ社が運営するジャカルタ都市高速鉄道南北線フェーズ1の入札支援・施工監理業務、南北線フェーズ2の設計・入札支援・施工監理業務、東西線の設計業務を実施。19年3月に南北線フェーズ1が開業した。

PT MRTジャカルタ社はジャカルタ特別州の都市高速鉄道の運行会社。州知事令によりMRT沿線のTODのマスターデベロッパーとして指定されている公企業でもある。